

# 県民 2006 10 だより

編集・発行 栃木県広報課  
平成18年10月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 2,014,941人(前月比+453人、前年同月比-1,133人)  
◎男1,001,112人 ◎女1,013,829人  
◎世帯数718,543世帯 (9月1日現在)

## ふるさと栃木フェア2006

“とちぎ”の魅力が勢ぞろい!  
とことん“とちぎ”を楽しもう

県内各地の特産物の展示・販売や農産物の販売、観光情報の提供など、“とちぎ”の魅力を紹介します

日時 10/28(土)・29(日)  
午前9時～午後5時(29日は午後4時まで)

会場 マロニエプラザ(宇都宮市)

入場無料  
マロニエプラザ内の駐車場は混雑が予想されます。臨時駐車場をご利用ください

■は臨時駐車場  
臨時駐車場及びJR宇都宮駅からはシャトルバスを運行します

ふるさと栃木フェア実行委員会事務局(県観光交流課内) ☎028-623-3305

【目次】

2面	農村の女性起業	3面	県からのお知らせ 募集・催し ほか	4面	県政トピックス 文化情報 ほか
----	---------	----	-------------------	----	-----------------

## とちぎ子ども医療センターが 自治医科大学にオープン



平成十六年八月に開設した、血液疾患や内分泌疾患などの高度小児専門医療にも対応する「獨協医科大学とちぎ子ども医療センター」に続き、本年九月十九日に「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」がオープンしました。このセンターでは、従来の高度小児専門医療に加え、これまで県内での手術が困難であった先天性心疾患や、今後、医療需要の増大が見込まれる発達障害、精神・心理疾患にも対応し、子どもの難病全般にわたる医療を提供していきます。

**求められる 高度小児専門医療**

高度で専門的な治療を必要とする小児医療(高度小児専門医療)については、これまで県内の大学病院をはじめとする地域の医療機関が連携をとりながら行ってきました。しかし、病気によっては、県外の医療機関で治療するしかなく、子どもやその家族にとって大きな負担となっていました。

**子どもの視点でつくられた病院です**

このため、県は、「栃木県小児医療体制整備構想」を策定し、自治と獨協の両医科大学内に「とちぎ子ども医療センター」を整備することとしました。

スタッフと最新の設備で治療にあたります。心身の成長期を病院で過ごす子どもにとって、病院は、療養の場であると同時に、生活の場にもなっています。このため、センター内には、養護学校の分教室や、表現活動を通して創造力を学んでいくクリエイティブルーム、遊び場であるプレイコナーを設け、療養中の子どもに対する育成を支援しています。

### 明日への希望を抱き続けられる施設でありたい

自治医科大学とちぎ子ども医療センター長 桃井真里子さんにお話を伺いました

このセンターは、全国的にも珍しい大学病院に併設された子どものための病院です。常に、最新の医学と医療情報を入手することができ、質の高い成人医療の専門医たちと緊密な連携を築きながら、大学病院で蓄積されてきた先端医療技術や高い研究機能を小児医療に活用していきます。

センターができたことで、確かに小児医療体制は充実強化されました。今後は、外科系各領域への専門医の配置を含め、必要な高度小児専門医療の医師たちを招いたり、育成したりするなど、小児総合医療を実現していくことが、センターの使命と考えています。子どもたちとそのご家族が、どのような状況でも明日への希望を抱き続けられる、そんな施設に育つことを願っています。



また、センターに入院や通院している患者家族の経済的・身体的・精神的な負担を軽くするため、県と自治医科大学は、隣接地に宿泊施設を設置しています。運営は、財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チ

このほか、子どもの不安をやわらげ快適に過ごせるよう、内装には「森」をテーマにしたデザインや色合いなどを使い、子どもたちが満足できるように療養環境を造りだしています。

「獨協医科大学とちぎ子ども医療センター」と「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」は、ともに本県の小児医療の拠点施設として、地域の医療機関と緊密な連携をとりながら、質の高い医療を提供していきます。これらのセンターには、休日や夜間、特に症状の重い子どもの診療を行う「三次救急医療」の機能も備えられており、いつでも安心して適切な医療が受けられる体制を整えています。

県では、今後とも、小児科医の確保や、拠点となる病院を支援して、子どもとその家族のニーズに十分応えられるよう、小児医療体制の充実強化に全力で取り組んでいきます。

「総合的な小児医療体制の充実強化に向けて」

カリティーズ・ジャパンがあたり、「第二のわが家」としてのくつろぎの時間を提供しています。

子どもの健やかな成長を支え、県民が安心して子どもを生み育てることのできる環境をつくるためには、子どもの成長過程に必要な医療を確保することが必要です。県では、「とちぎ子ども医療センター」を整備し、小児医療体制の充実強化に取り組んでいます。

【問合せ】県医事厚生課 ☎028-623-3158

# 元気な女性が農村を変える

## 起業で輝く農村の女性たち

自分たちで作った農産物を活用して、農村レストランや農産物直売所などの運営に乗り出す農村の女性が増えています。安全で新鮮な農産物を、女性ならではのアイデアで、いろいろな消費者へ提供する取り組みが広がっています。生き生きと働く女性たちが、今、農村を元気にしています。

### 起業に生きる女性の視点

今、農村の女性たちの起業活動が、農村を活性化させる原動力として注目されています。

これまででは、農産物をそのまま市場に出荷していましたが、自分たちのレストランで食材として使用したり、市場を通さず直接消費者へ販売し、または付加価値を付けて加工・販売したりする活動が盛んに行われています。女性ならではの視点で、さまざまなアイデアを生み出し、製品化、商

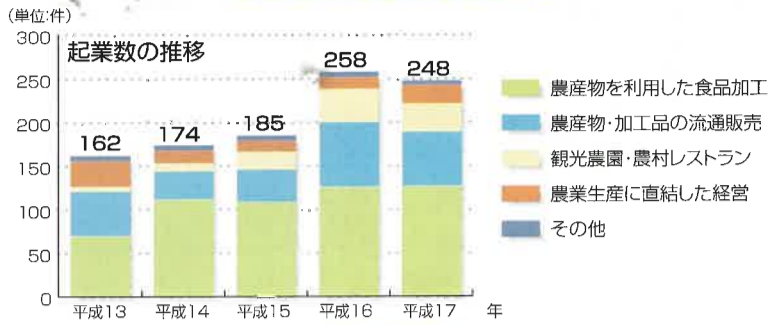
るビジネスチャンスを広げています。

### がんばっています地域の女性起業

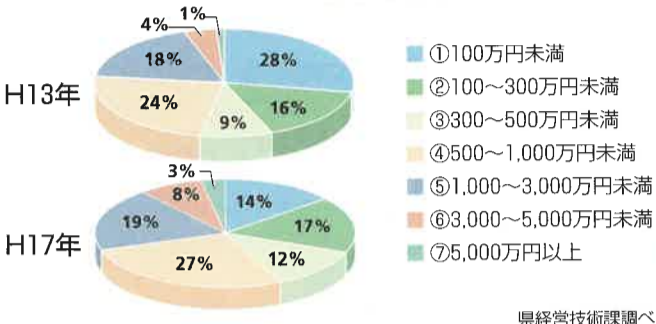
県内各地の農村で、女性グループの起業活動が活発になっていきます。

茂木町にある「虹色の里あじ彩」では、農村レストランとともに、手工芸の体験教室などを行っています。その前身は、昭和五十年代から、地域の女性たちが行っていたリース製作活動のグループ。その後、ツインリンクもてぎのイベントで、リースや押し花などの

### 農村女性起業の活動状況



### 売上の推移



県経営技術課調べ



すべて地元の食材で作ったランチ



「虹色の里あじ彩」で働くみなさん

代表の河又トモイさんは、「開業当初は、試行錯誤の連続でしたが、メンバー一人ひとりがアイデアを出し合いながら営業を続け、一年が過ぎた現在、ようやく

体験コーナーや、山菜料理を提供していたことがきっかけとなり、農村レストランと花の体験工房を併せた施設の開設話が持ち上がりました。平成十六年から準備を始め、昨年の五月に、「虹色の里あじ彩」として営業が始まりました。

がいに満ちた女性たちの笑い声が絶えない直売所です。直売所を運営している女性たちは、「直売所を始め



「あざみ野直売所」では、いつでも新鮮な農産物を販売しています

軌道に乗ってきたところで、今では、県内だけでなく、県外からもお客さんが来てくれるようになりました。これからは、旬の食材を生かしたメニュー作りなどに積極的に取り組んでいこうと考えています」と話します。

また、塩谷町にある農産物直売所「あざみ野直売所」は、管理運営を地域の農家の女性たちで行っています。直売所を始めたのは平成四年三月。塩谷町では初めての直売所ということもあり、口コミで情報が広まり、お客さんも増えていきました。今では、漬物やみそなどの農産物加工品や切り花、菓子パンなど、女性の視点を生かした品揃えと、買いやすい価格で人気を博し、多くのお客さんが訪れています。自分たちでお店を経営しているという自信と生き

る役割が見直されています。このような中で、農村における女性の視点を生かした起業への取り組みが、生産者と消費者との架け橋となり、食の信頼確保や都市と農村との交流の活性化などに繋がっています。こうした生き生きと働く女性たちが、まさに農村を元気にさせています。

県においても、農村における女性起業を後押しするためにさまざまな取り組みを行っています。その一つ「アグリチャレンジャー」支援事業では、農村の女性たちが農畜産物の加工や流通、販売、交流を目的として行う施設の整備などに対し、支援を行っています。

また、事業立ち上げのための研修会や事業を成功させるための経営管理などについて、各種支援も行っていきます。

近年、食の安全への関心が高まる中、生産者の顔が見える、安全で安心な農産物を消費者に提供しようという動きが広がっています。また、農村は、食料の供給地というだけでなく、自然環境の保全や、地域文化の伝承、人々の憩いの場の提供など、さまざまな機能を持っているということも、その役割が見直されています。

## 農村の女性たちによるさまざまな起業の取り組み

### 農村レストラン

地元の食材を、新鮮なまま、素材の持つ本来の味を損なうことなく味わうことができる施設。手打ちそばやパスタ、旬の野菜料理など、農家の方々が、自分たちで生産した食材を、自分たちで調理し、提供しています

### 農産物直売所

地元で作った野菜などを、直接消費者へ販売している施設。その日の朝採れたものをその日のうちに店頭に並べるので、鮮度は抜群。最近では、地元の農畜産物を使った加工品なども商品として販売しています

### 農産物加工施設

自分たちで生産した農畜産物を自ら加工するための施設。みそや豆腐、漬物、ジャムやジュースなど、加工された商品を農産物直売所などで販売しています

### 農業体験施設

農作業や農産物の加工作業などの体験を通して、都市と農村の交流を深めてもらうための施設。そば打ちやみそづくりなどのほかに、竹細工や炭焼き体験など、さまざまな種類の施設があります

## “とちぎ”の食と農が満載

～県内各地の食と農に関する施設を紹介しています～

### とちぎ農村ふれあい施設マップ

食と農に関係する県内の施設を紹介。農村レストランから農業体験施設まで魅力満載



「とちぎ農村ふれあい施設マップ」とちぎの農村レストランマップは、県内各農業振興事務所配布しています。また、ふるさと栃木フェア2006でも配布いたします

### とちぎの農村レストランマップ

県内各地の農村レストランを紹介。ちょっと足を延ばして、ふるさとの味に接してみてください



## とちぎアグリネット



●栃木県の農業・農村や食に関する様々な情報を提供しています  
●ホームページhttp://agrinet.pref.tochigi.jp/

### ふるさと栃木フェア2006でも“とちぎ”の食と農を紹介

10月28日(土)・29日(日)にマロニエプラザ(宇都宮市)で開催される「ふるさと栃木フェア2006(1面右上参照)」でも、「食の祭典」と銘打ち、県内各地の新鮮な農産物などが集まります。ぜひお越しください!



第4回  
知事コラム

# 吹き竹



本県の人口10万人あたりの交通事故死者数は昨年が全国ワースト1位、今年も8月現在でワースト4位。そこで、「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」の期間中(9月21日～30日)、県の担当部局の職員も最寄りの交通指導所や交差点に出向き、地域の皆さんとともに交通安全を呼びかけた。「多くの方々と交通安全の意識を共有することができた」とは参加した職員の弁である。

私は「県職員は地域で顔が見えない」との言葉を度々耳にしており、県民との協働の県政を推進すべきとの思いから、県の総合計画「とちぎ元気プラン」にその理念を盛り込んだ。職員には「ひとり1ボランティアを実践しよう」「仕事以外にもう1枚名刺を持とう」と日頃から話している。

今後は県内の様々な催しに全職員が地域住民の一人として率先して参加し(もちろん私も)、人の輪、心の輪が広がるよう期待したい。

栃木県知事 福田富一



人見さん(左)から説明を受けながら唐辛子畑を視察される天皇后両陛下

九月十三日～十六日、天皇后両陛下は、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。十三日には、那須町の農家、人見信吉さん宅を訪問。夏秋取りイチゴとちびとみを栽培するハウスなどをご視察されました。

人見さんは、「農作業はいろいろ大変ですね」と声をかけていただき、とてもうれしく思います」と話されていました。



本県を代表する伝統工芸品の武者絵をミッチ・ダニエルズ知事らに贈呈しました

また、栃木県紹介セミナーを開催し、インディアナ州の皆さんに、産業や文化、観光など栃木県の魅力をお伝えしました。

現地では、州政府主催の歓迎会などが行われ、ミッチ・ダニエルズ知事らと親交を深めました。

福田知事は、九月七日～十三日まで、県と姉妹提携しているアメリカ・インディアナ州を訪問しました。

# 県政トピックス

県の出来事を紹介します



1 天皇后両陛下  
那須町の農家をご視察



2 知事、アメリカ・イン  
ディアナ州を訪問



# 自然とふれあう

## 県民の森「森の集い」

- ◎つるを探してバスケット作り  
●11/14(火)●11/16(木) 午前9時30分～午後3時 県民の森で採取したつるでバスケットを作ります 定員 先着30名 参加無料
- ◎つるを探してクリスマス・リース作り  
●11/26(日)午前9時30分～午後3時 県民の森で採取したつるでリースを作ります 定員 先着30名 参加無料

## ◎マロニエ昆虫館オープン

●10/1(日)に県民の森管理事務所内に、「マロニエ昆虫館」が仮オープンしました。昆虫が大好きな少年少女だけでなく、大人も楽しめる展示内容です。ぜひお出かけください 開館時間 午前9時～午後4時 入館無料 同管理事務所 ☎0287-43-0479



## 太平少年自然の家

◎太平・唐沢まるごと2日間  
●11/25(土)～26(日)・1泊2日 唐沢青年の家から太平少年自然の家までの14kmのハイキング。2日目は、日の出を見たり、バードウォッチングをします 対象 小学4年～中学生 定員 25名 参加費 3,000円 申込締切 10/31(火) 同自然の家 ☎0282-24-8551

とちぎ花センター  
●10/22(日)まで 栃木県内で生産された高品質なユリ、輪ギク、バラを飾花展示します 開園時間 午前9時～午後4時30分 入園無料

## ◎いろいろなベゴニア展(観賞大温室内展示)

●11/19(日)まで 多種多様なベゴニアを展示します 観賞大温室開館時間 午前9時～午後4時 観賞大温室入館料 大人400円 小人200円 月曜日休園(祝日の場合は翌日) 同センター ☎0282-55-5775

日光自然博物館  
◎マスの採卵体験  
～命が生まれる森をみよう～  
●11/25(土) 採卵体験や中禅寺湖周辺の自然観察会 定員 30名 対象 小・中学生の親子、一般の方 負担金 大人500円 小人300円 申込締切 11/11(土) 同館 ☎0288-55-0880

# とちぎの野鳥

Vol.7

暗闇でも見える大きな目音を立てずに飛べる精巧な翼獲物をつかんだら放さない強い爪この鳥のハンターとしての本性は夜に現れます



初山京生さん(佐野市)の作品

## 文化情報

### 子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555 月曜(祝日の場合は翌日)

- プラネタリウム番組のご案内  
◎「マッチ売りの少女」アンデルセンの名作と素敵な星空をあわせて紹介します 小さなお子様から楽しめます ●11/22(日)まで  
◎「秋の星空」秋の星空の魅力と日本では見られない南極の星空を紹介します ●大人の方にも見応えがあります ●11/29(水)まで  
●詳細はお問い合わせください ※いずれもプラネタリウム観覧券が必要です



## 文化情報

### 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 月曜(祝日の場合は翌日)

- とちぎ美術探訪一県内ミュージアムが誇る日本絵画の名品たち  
●10/29(日)～12/10(日) 県内各地で活動する美術館・博物館の誇る所蔵品の中から、代表的な日本絵画を一堂に展覧する初の試み。雪村周継、狩野探幽、谷文晁、高久露厓、渡辺華山、歌川広重、田崎草雲、小杉放菴、荒井寛方らの作品69点を展示



狩野探幽<釈迦三尊像>日光山輪王寺宝物殿蔵

## 文化情報

### 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312 月曜(祝日の場合は翌日)

- 企画展「名城 宇都宮城ーしろとまちの移り変わりー」好評開催中 ●講演会「幻の名城 宇都宮城の近代と近世」千葉工業大学河東義之教授 ●10/29(日)午後1時30分～3時30分 定員200名 要電話予約 ●開館記念イベント「けんぱくと遊ぼう」 ●10/22(日) ●各種イベントを開催します。「クイズに挑戦(正解者には記念品贈呈)」「化石のレプリカをつくろう」「昔のおもちゃで遊ぼう」「秋のキノコ」「骨のふしぎ」「土器と遊ぼう」 ●学芸員の特別展示解説 映画会「世界遺産熊野古道・知床」「ミッキー・マウス」 ●小中学生無料 ●高校生以上は要観覧料(映画会など一部除く) ●各開始時間は要問合せ

## 文化情報

### 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1013

- とちぎ蠟燭(ろうそく)能 ●12/7(木)午後6時30分開演 指定席2,000円 ●解説、仕舞「殺生石」狂言「千鳥」蠟燭能「巴」 ●発売中 ●豪華二本立て演劇公演「柄本明ひとり芝居/東京乾電池」 ●12/6(水)午後6時30分開演 指定席3,000円 ●発売中 ●中村雅俊コンサート ●11/7(火)午後6時30分開演 指定席6,300円 ●発売中 ●キエフ・オペラ「アイダ」 ●11/11(土)午後5時開演 指定席S席14,000円～C席6,000円(学生3,000円) ●発売中



キエフ・オペラ「アイダ」

## ご意見募集!

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で20名の方に栃木県の美しい風景を満載した写真集「とちぎ春夏秋冬」を差し上げます。官製ハガキに住所・氏名・年齢・ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。

〒320-8501 県広報課 「とちぎ県民だより」係

## information とちぎテレビ

# 県の広報番組

クローズアップとちぎ 毎週日曜9:00～9:30 (再)月曜22:00～22:30

- 10月15日 22日 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 農業の担い手、集まれ! ～栃木県農業大学校～
- 29日 県民協働の森づくり
- 11月5日 食糧の基礎をつくる ～飼料自給率の向上にむけて～
- 12日 不法投棄撲滅を目指して

## こちら とちぎ調査隊!

- 10月21日 学んで、育てて、引き継ごう! ～県民参加によるみどりづくり～
- 28日 とちぎの花を暮らしの中に! ～花の生産振興～
- 11月4日 ものづくりを支える熟練の技 ～とちぎマイスター～
- 11日 生涯学習施設

## いいひと いいこと つぎつぎ「とちぎ」

- 10月28日 地域での子育て支援 ～地域ぐるみでの子育て支援活動を紹介します～

## とちぎ教育新事情

- 10月15日 元氣なとちぎっ子の育成のために! 県立学校紹介～鹿沼商工高等学校～
- 22日 盲・聾・養護学校の地域支援
- 29日 歯・は・ハ!
- 11月5日 12日 県立学校紹介～小山南高等学校～

## 県政ひとくちメモ

- 10月19日 26日 自治医科大学とちぎ子ども医療センター エコドライブ
- 11月2日 9日 16日 糖尿病予防 ものづくりフェスタ2006 火災予防